

プラントベースと エシカル消費について

株式会社 前田商店

2023.03



FOOD
TECH



目次

- ・ プラントベースとヴィーガンの違い
- ・ プラントベースとサステナブル
- ・ プラントベース市場
- ・ プラントベースとエシカル消費
- ・ エシカル消費市場

プラントベースと ヴィーガンの違い

プラントベース
ヴィーガン
植物性
動物愛護
環境保護
健康志向

ープラントベースフードとはー

- ・ 英語で植物を意味する「plant」と由来を意味する「base」から成る言葉
- ・ 主に植物を原材料とした食品を積極的に取り入れることを目的としている。
これには「野菜、果物、全粒穀物、植物油、ナッツ類、豆類」などが含まれる
- ・ 厳格なルールはない為、誰でもそれぞれ目的に沿って自由に取り入れることができるのが特徴
- ・ あくまでも健康や疾病予防、環境問題などにアプローチ



ーヴィーガン（完全採食主義者）とはー

- ・ 食事のとどまらず衣類や日用品の使用に至るまで、
一貫して「動物性のもの」を避ける人々のことを指す
- ・ ヴィーガンは食事だけではなくライフスタイル全域に及ぶ
- ・ 多くは動物愛護や環境保護の観点、さらに宗教上の理由などが由来していることがある



プラントベース⇒植物性の食材を積極的に取り入れることをコンセプトした食品
ヴィーガン⇒動物をできるだけ摂らないことをコンセプトにした食品



動物性が含まない点のみ一致
ただし、植物性でもヴィーガンの定義にはまらない食材もある為、
一部の製品においては両者が合致する箇所もあるという認識



プラントベースと サステナブル

サステナブル
環境問題
SDGs
温室ガス

ーサステナブル食品としても注目ー

健康や疾病予防だけではなく、
地球環境の保護にも役立つサステナブルな食生活として注目食品！



温室ガス問題

- ・牛の飼育によるメタンガスが地球温暖化を加速させているとの指摘
- ・メタンガスは二酸化炭素に次いで地球温暖化に及ぼす影響が大きな温室効果ガス
- ・牛は飼料を食べたあとのゲップやオナラに多くのメタンガスが含まれており、牛1頭が放出するメタンガスの量は、1日160~320リットルにも上ると言われている



水不足問題

- ・市場向けに牛を育てるには長期にわたり畜産動物の飲用や飼料用の作物に沢山の水が必要
- ・植物の栽培には畜産動物を生育する過程で消費される水の量と比べるとはるかに少なくてすむ
- ・世界各地で起こっている異常気象、干ばつ、砂漠化、環境温泉などは水質源の枯渇が続いているのも要因の一つと考えられている



食糧問題

- ・国連の調査によると現在77億人とされている世界の人口は、2050年までに97億人にも達するという予測がされている
- ・地球温暖化や自然災害による農作物の不良などで食糧の不足が起こる可能性がある

- ・プラントベースフードを選ぶことで間接的に環境保護の抑止、に繋がる可能性がある
- ・植物性のタンパク質源を摂る生活にシフトすることで食糧不足の解決につながる可能性がある

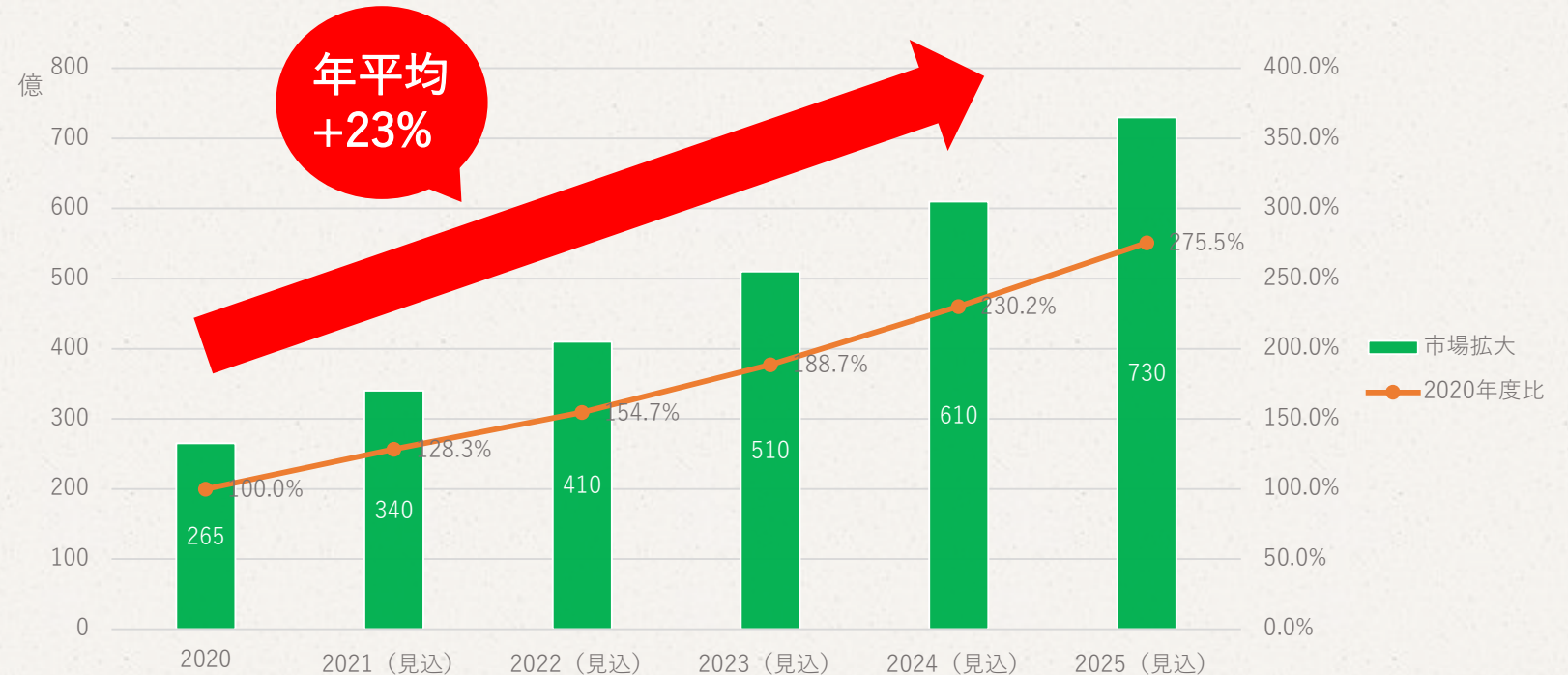
プラントベース市場

コロナ
健康志向
持続可能な社会
サステナブル
嗜好の多様化
SDG s
宗教

ープラントベース市場拡大の背景ー

- ・ コロナ禍における健康志向の高まり
- ・ SDGsの「持続可能な社会」の形成にも関与し、サステナブルな食文化として
- ・ 宗教上・健康上の理由で制限されている方でも誰でも食べられる食材として
- ・ 嗜好の多様化による食への選択の拡大
- ・ 年平均で+23%
- ・ 2023年度は2,000億越えの規模になる予測

日本のプラントベースフード市場規模と今後の予測



※植物性代替商品：肉や乳製品、卵、シーフードといった動物性食品の代替品

出典元：TPCマーケティングリサーチ（株）2021年4月～5月



プラントベース とエシカル消費

エシカル消費
地域応援
地産地消
SDGs
サステナブル
フェアトレード
オーガニック

ーエシカル消費とはー

消費者それぞれが各自にとって社会的課題の解決を考慮したり、
そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。
また、地球環境、社会、地域への配慮のうち特に持続可能性も判断基準。
「エシカル」は英語の"ethical"で、「倫理的」「道徳上」という意味の形容詞。

ープラントベースの関係性ー

植物性を選ぶことで環境保護の抑止に繋がる可能性があることからプラントベースフード
はエシカル消費となります。
また、SDGsの12番目「つくる責任 つかう責任」の当てはまります。



持続可能な開発目標(SDGs)の12番目は「つくる責任 つかう責任」
2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、
貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などと併せて、
「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

ー🐦 環境系キーワードー

エコマーク # フェアトレード # カーボンオフセット # グリーン購入
オーガニック # サステナブル

ー🐦 地域系キーワードー

地産地消 # 地域応援

カレボーやVHPの
チョコレート、
ローズウォーターも
エシカル消費ですね！

ETHICAL

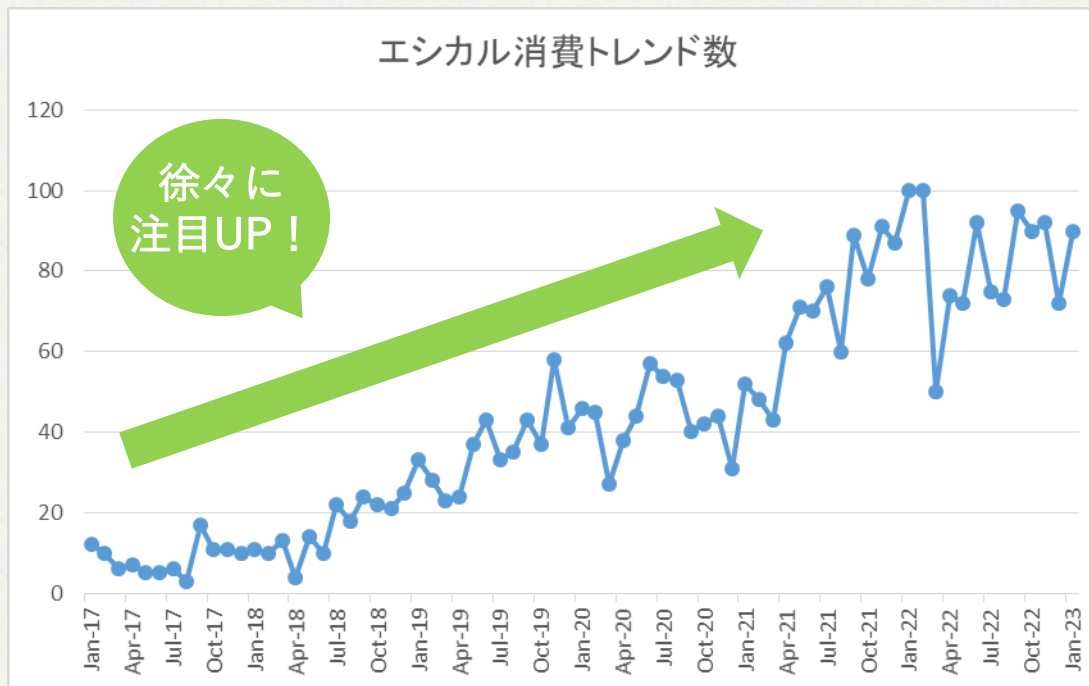
エシカル消費市場

エシカル消費
サステナブル
プラントベースフード
エシカルトラベル
地産地消

ーエシカル消費市場ー

言葉はまだ聞きなれないかもしれませんが、サステナブルと同様に徐々に認知されつつある今後注目キーワード。

日本の市場規模は、海外のエシカル市場ほど大きくはないが、エシカル消費への意識が段々と生まれてきている現状。



※100 の場合はそのキーワードの人気度が最も高いことを示し、50 の場合は人気度が半分であること
※Google Trends 2017年1月～2023年1月までの検索キーワード

今後「サステナブル」と同様に「エシカル消費」も定着していくと予測する。

引用サイト、参考サイト

日本ベジタリアン協会：<https://www.jpvs.org/menu-info/index.html>

大豆ミート研究所https://www.otsukafoods.co.jp/soymeatlabo/article/what_is_plant_based_food.php

環境省：<https://onl.bz/gdavqn4>

SMATAGRI：<https://smartagri-jp.com/food/3246>

農畜産業復興機構：https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_001949.html

植物性料理研究協会：<https://plant-origin.org/chikuykankyo-3riyu/>

消費者庁https://www.caa.go.jp/notice/other/plant_based/

Ethical Choice：

https://myethicalchoice.com/journal/news/ethical_marketsize/#3